

指定管理者評価シート

所管課: 市民生活部北部市民サービスセンター

施設名称	秋田市将軍野地区コミュニティセンター	指定管理者名称	将軍野地区コミュニティセンター管理運営委員会
指定期間	令和4年 4月 ~ 令和 9年 3月	評価対象期間	令和5年 4月 ~ 令和6年 3月

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
令和3年度	14,922 人	5,899,682 円	5,563,613 円	336,069 円
令和4年度	16,415 人	6,089,942 円	5,690,963 円	398,979 円
令和5年度	17,967 人	6,487,424 円	6,092,448 円	394,976 円

評価項目		評価
1 市民の平等な利用の確保		S
① 平等な利用確保	・不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていない	A
	・個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない	S
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		A
① 法令等の遵守	・条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っている	A
② 地域振興への貢献	・地域関係機関、ボランティア等との連携が図られている	A
	・地域の特性を活かした自主事業を実施している	A
③ 広報活動の実施	・施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っている	A
④ 施設の利用促進	・施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている	S
⑤ サービスの向上	・利用者に対するサービス向上の取組がなされている	A
3 効率的な管理		A
① 施設・備品管理	・建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されている	A
	・備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われている	A
	・市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれている	S
② 環境への配慮	・電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいる	A
4 適正かつ確実な管理を行う能力		A
① 適正な人員配置	・施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われている	A
② 接遇・研修・苦情対策	・利用者に対する職員の接遇、マナーは適切である	S
	・職員の資質の向上のため、研修等を行っている	A
	・アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている	S
③ 安全管理・危機管理	・事故防止のための取組を行っている	A
	・事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されている	B
	・マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っている	A
④ 個人情報保護	・個人情報保護の重要性を認識し、適正な取扱いが図られている	A
⑤ 収支状況	・収支計画に基づいた適切な執行を行っている	A
	・文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っている	A
総合評価		A

評価に係る特記事項

1については、利用者に対する不当な制限や優遇がなく、利用者のアンケート評価も良好であることから高く評価できる。

2については、基本協定書等に基づき指定管理者の業務を適正に行っていると認められる。また、コミセン主催のピンポン大会を実施したほか、館内に団体サークルで作成した成果品を展示する等の自主事業を実施している。

3については、適宜備品状態を確認する等、建物・設備が適切に管理されており、利用者のアンケート評価も良好であることから高く評価できる。

4については、スタッフが緊急時に対応できる体制を構築している。苦情等は事務日誌に内容を記載し、スタッフ全員で情報共有している。個人情報の重要性を認識し、収支等の関係書類も適正に処理されていると判断される。

(S評価の理由)

1-①の「個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない」については、アンケート調査結果より、窓口等での説明や対応の仕方に関する項目の「満足・やや満足」の回答が80%以上であるため。

2-④の「施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている」については、毎週土曜日に体育館を開放する等、施設の利用促進を図っているため。

3-①の「市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれている」については、アンケート調査結果より、館内の印象に関する項目の「満足・やや満足」の回答が80%以上であるため。

4-②の「利用者に対する職員の待遇、マナーは適切である」については、アンケート調査結果により、挨拶や身だしなみ等の印象、窓口等での説明や仕方に関する項目の「満足・やや満足」の回答が80%以上であるため。

また、「アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている」については、寄せられた苦情等を事務日誌に記載し、スタッフ全員が共通認識しているため。

以上のことから、当該施設の指定管理業務については、適正な指定管理がなされており高く評価できる。

今後も地域特性を活かした自主事業の企画や情報発信を継続し、地域活性化と地域コミュニティの拠点として施設運営に取り組んでいただきたい。